

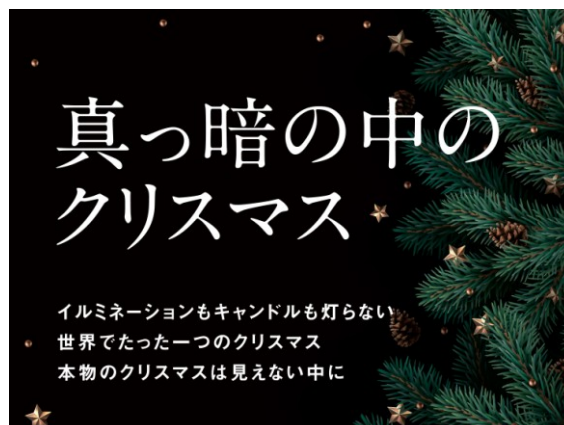
**西日本唯一の常設会場 ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」体験者数2万人突破**  
**暗闇の中で心に光を灯す。クリスマスプログラムを開催**  
**「くらやみサンタのお手伝い」と「くらやみサンタからのおくりもの」**

積水ハウス株式会社は、ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都中央区、代表：志村真介）との共創プログラム、ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下、DID）「対話のある家」第27回プログラムを、11月7日（木）からクリスマスイブの12月24日（火）まで開催します。

実施に先立ち、10月10日（木）正午よりWEBでのチケット先行販売を開始します。

例年好評を得ているクリスマスプログラム、今年は期間前半を「くらやみサンタのお手伝い」、後半で「くらやみサンタからのおくりもの」と題して、体験内容が変化します。イルミネーションやキャンドルで光り輝くクリスマスとは真逆の真っ暗の中で、鮮やかな色がなくても話による人のつながりや温もりを感じる、クリスマスの時間を提供します。

また、DIDの魅力の一つ「初対面の人ととても仲良くなれる」を感じられる体験として好評を得ている、ひとりで申し込む方が集う「一期一会」ユニットを、6回限定で開催します。



**<暗闇で気づく価値に、体験者アンケートで約9割が「また来たい」と回答>**

DIDは、1988年にドイツで哲学博士アンドレアス・ハイネッケが発案。参加者は完全に光を遮断した空間の中へグループを組んで入り、暗闇のエキスパートである視覚障がい者のアテンドのもと、中を探検し、さまざまなシーンを体験する「ソーシャルエンターテイメント」です。

これまで世界41カ国以上で開催され、800万人を超える人々が体験しています。人の声の温かさ、対話の可能性の発見、視覚以外の感覚が育む「心地よさ」など、DIDの魅力は体験した人にしかわからない体験価値にあり、DID「対話のある家」体験者アンケートでは「また来たい」が86%、体験者数も20,000人を超えるなど、高い人気を得ています。体験者からは「五感のうちの一つを使わないだけで、これほど世界が新鮮になるのだと思った（50代 女性）」「家は見た目ではなく中身だということ、そして誰と過ごすかが大事なのだとイメージが変わった（30代 男性）」といった、日常では得られない気づきや体験の声が寄せられています。

例年ひとつの会期で実施した「新春」プログラムは、次の第28回として開催いたします。

積水ハウス株式会社 広報部

（大阪）TEL 06-6440-3021

（東京）TEL 03-5575-1740

（本社）大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

## ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」第27回 真っ暗の中のクリスマス «①くらやみサンタのお手伝い» «②くらやみサンタからのおくりもの» 概要

- 開催場所：積水ハウス「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」  
グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル4階（大阪市北区大深町3番1号）
- 開催期間：①2019年11月7日（木）～11月30日（土） ②12月1日（日）～12月24日（火）  
＜一期一会の回＞11月8日（金）、15日（金）、22日（金）各日12：30から  
11月14日（木）、21日（木）、12月19日（木）各日17：00から
- 参加料金：大人3,500円／学生2,500円／小学生1,500円（税込）
- チケット発売：2019年10月10日（木）正午～
- 定休日：火曜日・水曜日 ※12月24日（火）は開催いたしません。
- 所要時間：70分程度
- 参加人数：各回6人まで
- 申込方法：予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>
- 「対話のある家」お問い合わせ事務局：0120-39-9683（11：00～18：00 ※土日祝日除く）

### D I Dと積水ハウスの共創プログラム「対話のある家」について

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてまいりました。その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続けるDIDとの共創プログラム「対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を広く提供します。

さらに、ブランドビジョン「SLOW & SMART」を実現する、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。



見て触れて楽しめる  
「DID 対話のある家」の展示コーナー

### <これまでの開催実績>

- 開催日数：2013年4月26日から開始、開催日数は計1059日間（2019年8月26日現在）
- 参加者数：20,714人 / 性別：男性38%、女性62%
- 年代：10代以下9%、20代28%、30代26%、40代23%、50代11%、60代以上3%
- お正月、ガーデニング、夏休み、クリスマスなど、季節ごとに毎回異なるプログラムを開催。体験するたびに新しい発見が得られるとの声を多数いただいております。

### <前回のクリスマスプログラム体験者の声>

- 暗闇でも楽しく過ごせました。会話の大切さがわかりました。今はひとりで暮らしていることに慣れてしまって、会話が無くてもこんなもんかと思っているけれど、やはり心の交わり合いはあった方がよいなと。家とは「心が集まる場所」ですね。（男性 52歳）
- 当たり前と思っていたことが、暗闇では当たり前ではなくなるとわかった。学校で「会話」が大切と習ったことが、こういう体験をしてみたらその大切さがわかった。（男性 11歳）
- 「真っ暗の中のクリスマス」がイメージできませんでしたが、体験してみると、たくさんできることがありました。見ることはできませんが人に見られることもなく、リラックスすることができました。皆がコミュニケーションに積極的で、とても居心地が良かったです。（女性 58歳）
- 自由な気分になりました。思ったことを話したり手を伸ばしたり余計なことを考えずに行動できました。目に見える情報に縛られているんだなと思いました。（女性 46歳）